

一体型の放課後児童クラブ・放課後子供教室の取組（ある自治体の例を参考に作成）

一体型とは

- 共働き家庭等も含めた全ての就学児童を対象に、共通の活動場所において多様な共通プログラムを実施
 - 活動場所は学校の余裕教室や特別教室（家庭科室や理科室、ランチルーム等）、学校敷地内の専用施設等の安心・安全な活動場所を活用
- ※放課後子供教室の開催日数は、各地域の実情等に応じて実施

一体型のイメージ

【学校の敷地内等にて実施】



放課後児童クラブ（生活の場）

* 共働き世帯等の児童を対象

放課後子供教室（学習・体験活動の場）

* 希望する全ての児童を対象

放課後児童支援員



連携

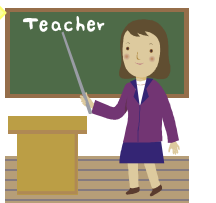
コーディネーター
地域のボランティア等



学習支援など
多様な
プログラムの
実施



学校の教職員



児童の放課後の様子や学校での様子などについて、日常的・定期的に情報共有

健康管理
余暇指導
生活支援

- 宿題、遊び、休息など、児童の体調、日課等に合わせて自主的に過ごす
- 基本的な生活習慣についての援助、自立に向けた手助け
- おやつを提供



希望する
放課後
児童クラブ
の児童も参加

【放課後児童クラブの児童も含めた
全ての児童を対象とする共通プログラムの実施】

- ・学習支援（宿題の指導、予習・復習、補充学習等）
- ・多様な体験プログラム（実験・工作教室、英会話、文化・芸術教室等）
- ・スポーツ活動（野球、サッカー、一輪車）など

17:00まで

連携

家庭



- ・連絡帳のやりとり
- ・お迎え時の日常的な会話
- ・養育に関する相談支援 など

19:00まで

プログラムを実施する際は
体育館や特別教室などの
学校施設も活用

